

No. 3000

2021-2022年度

会 長 松村 秀一  
幹 事 川口健太郎  
R広報委員長 児嶋 正人



島海碩書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
事務所 〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020  
創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして  
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年4月7日 第3001回

- ・戦略計画委員会クラブフォーラム  
「委員会組織について」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

次回のお知らせ

令和4年4月21日 第3002回

- ・外部卓話：末吉亜矢氏（三商 代表取締役）  
「女性目線で地域活性化に貢献する」
- ・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第3000回例会）

開催日 令和4年3月31日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [丸山親睦活動委員長]

ゲスト:西村 昴朗氏(ヤビツビレッジ 代表)

PHF表彰



上野山栄作君にポールハリスフェローの表彰状と認証ピンが届きましたので、松村会長から授与されました。

委嘱状授与



ロータリー米山記念奨学会より委嘱状が届きましたので、松村会長より授与されました。

ニコニコ箱の報告 [協村SAA]

松村君: 上野山栄作様、御令嬢の御結婚、誠にめでとございます。西村昴朗様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。お話しみにしています。

川口君: 西村様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願い致します。勉強させて頂きます。

上野山(捷)君: 西村昴朗様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

上野山(栄)君: 長女瑞波(みずは)が結婚いたしました。お相手は以前卓話にお邪魔しましたクラブビールズの彼です。今後ともよろしくお願ひいたします。

中元君: 西村様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

橋爪(誠)君: 西村様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話楽しみにしていました。よろしくお願ひいたします。

井上君: 今日、例会場での出席多いですね!! 西村様、本日の卓話よろしくお願ひします。

木本君: 西村昴朗様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話、宜しくお願い致します。

丸山君: 西村様、本日の卓話楽しみにしています。

児嶋君: ようこそ有田RCへ。西村昴朗様、卓話よろしくお願ひします。記念すべき3000回おめでとうございます。

菅原君: 西村様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

辻君: 西村様、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。

脇村君: 西村昴朗様、本日の卓話よろしくお願ひします。第3000回例会、おめでとございます。

出席報告

[木本例会運営委員長]

本日の会員数27名

(出席規定免除会員8名)

出席会員数21名

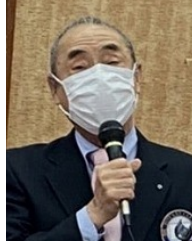
(出席規定免除会員6名)

世話クラブ：有田ロータリークラブ  
米山カウンセラー：菅原佳典君

会長の時間 [松村会長]

「地区大会 立法検討委員会報告  
国際ロータリーの声明  
災害救護基金の指定」

3月27日地区大会行ってまいりました。立法案検討会(選挙人会議)報告 審議事項すべて、賛成多数もしくは全員賛成で可決成立しました。



ウクライナ情勢に関する「国際ロータリーからの声明」が2月末に発表されました。

ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲慘な状況となっています。

ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲慘な結果が広がる恐れがあります。

世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。私たちは、国際社会とともに即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。

過去10年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。

ロータリー財団は現在、深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を世界中のロータリー会員が寄付することのできる正式な窓口として、**災害救援基金**を指定しました。

6月30日までウクライナと国境を接する地区とウクライナ国内の地区に災害救援基金から50,000ドルの補助金。それ以外の地区で難民やそのほかの被災者への支援に25,000ドルの補助金を申請できます。迅速な手続きが行われるこれらの補助金は、水、食料、シェルター、医療品、衣服といった救援物資を含め、この危機による難民や被災者の支援に利用できます。

ウクライナ支援のための災害救援基金への寄付はマイロータリーからオンラインで寄付ができます。マイロータリーに登録していない会員は事務局から銀行振り込みをします。ただしこのウクライナ支援のための災害救援基金への寄付は2022年4月30日までに行う必要があります。

次週4月7日のクラブフォーラムは「委員会組織について」です。委員会のグループ分けを地区のグループ分けに近づけることを目標にしています。クラブの活性化が生

まれると感じています。この変更が会員の皆様に受け入れていただけると嬉しいです。井上会長エレクトは次年度委員会組織を考えていくこととなりますが、新しい委員会組織で考えたいと思っています。今年度中には細則を変更を進めて行きますのでアンケートにもご協力ください。会員の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

幹事報告 [川口幹事]

本日の幹事報告5件ございます。

- ・地区より「意義ある奉仕賞」推薦のお願い
- ・地区より2022-2023年度のための地区研修・協議会の案内
- ・地区より新旧合同「クラブ社会奉仕委員長会議」の案内
- ・地区より第40回RYLA研修セミナー募集の案内(再)
- ・第7回日台ロータリー親善会議福岡大会の案内

委員会報告

※井上修平会長エレクト

PETSへの参加報告。地区研修・協議会の案内。

卓話



ヤビツビレッジ  
代表  
西村 ヤスハル 様

「移住と多様性」

コロナ渦において働き方や過ごし方を見直していくうちに「移住」という選択肢を選ぶ方が増えているのはご存知でしょうか？

今までは定年後ゆっくり暮らすために、地方移住するイメージが強かったと思います。

私は3年前何の縁もゆかりもない有田市の海辺に移住してきました。

これから移住したい方やすでに移住してきた方とお話する機会が増え感じたことは、そのような方が10人いれば、10人とも移住するきっかけや理由、これからの生活のイメージが違うということです。

(3人の事例をあげる)

このようにポジティブな理由の方もいれば、ネガティブ理由の方もいます。移住しても理想とは違い合わなくて出ていく方もいます。

私は、人口の少ない地方の町が発展していくためには、「移住者を増やす」ことはかせないことだと思っています。

人1人が1年間で使う生活費は約280万円と言われていいます。ちなみに私が移住を勧めて実際に移住した人数が12人です。これだけでも町でかなりの額が動くわけです。

これからの時代、多様性社会を受け入れること、認識す

ることで、移住促進の観点だけではなく、事業に生きてくると感じています。

例えば、カフェを運営している人がキャンプ場を運営する、キャンプ場を運営している人がマリンアクティビティを運営する、マリンアクティビティをしている人が民泊を運営する、これらは全て私が運営しているのですが、いろいろな入り口を作ることで、たくさんの人達に伝わり、相乗効果を生むことができます。

自分が歴史に名を残すようなごく稀な天才でもなければ、自分がしたいことやあればいいなと思うサービスなどは、同じことを思っている他人が必ず存在していると確信しています。

自分自身がいろんなこと、ひと、ものに触れ、感じ、自分なりに考えて行動することによって多様性を受け入れる準備ができるのではないかと考えています。

私は、移住をきっかけに多様性の大事さに気付きました。皆様がいまやられている事業を違う視点からみるきっかけになれば幸いです。

次週4/14(木)は  
**休会**です

## 「有田RCが植樹したみかん街道の桜」

(2022.4 成川守彦君撮影)

